

～子供たちの夢をかなえる教師になる！～

東京教師養成塾通信

発行日 令和4年12月18日<第1号>
発行元 東京都教職員研修センター
研修部教育開発課
電話 03-5802-0318
ホームページ <https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/10jida/vosei/index.html>

東京教師養成塾は、東京教師養成塾連携大学や教師養成指定校、学校経営支援センター、区市町村教育委員会との連携を図り、東京都の教員に必要な豊かな人間性と実践的指導力を兼ね備えた人材を学生の段階から養成するために、東京都教育委員会が平成16年度に小学校コースを、平成28年度に特別支援学校コースを設置しました。今期で20回の入塾生を迎え、これまでに約2,100名が修了し、教員として活躍しています。

●第20期東京教師養成塾入塾式

令和4年10月9日（日）東京都教職員研修センターにおいて、第20期東京教師養成塾入塾式を挙行了しました。東京教師養成塾の連携大学の学生である第20期養成塾生64人が、これから始まる養成塾の講座や特別教育実習に大きな希望を抱き、緊張した表情で入塾式に臨みました。

当日は、東京教師養成塾の塾長である東京都教職員研修センター 藤井 大輔 所長から、「各班に分かれ、教授の指導の下、塾生同士の絆を深めながら学んでいく過程は、東京教師養成塾の大きな特色であり、皆さんの成長を後押しすることとなることでしょう。これから始まる養成塾での学びを通して、皆さんが、『東京都が目指す教育を実現』できる教員としての素地を身に付けていくことを心から願っています。」と激励がありました。



また、塾生代表から「時には、悩み、迷い、立ち止まってしまうことがあるかと思います。しかし、これから出会う多くの人たちの姿に学びながら、常に理想の教師像を心に留め、諦めずに歩みを進めていきます。」と、決意の言葉がありました。

今後、第20期養成塾生は、27区市立小学校等53校、都立特別支援学校8校の教師養成指定校における特別教育実習や講座を通して、教師としての使命感や実践的な指導力、柔軟な対応力等を身に付けていきます。

●第1回教科等指導力養成講座

令和4年11月6日（日）東京都教職員研修センターにおいて、第1回教科等指導力養成講座を実施しました。始めに大久保主任指導主事から、受講の心構えとして、「事前視聴した動画で得た知識から課題意識をもち、講座を通して、各自の課題を主体的に解決してほしい。」「班別協議の中で自分の考えを発表し、仲間とよりよい解決策にむけて試行錯誤し、学んだ内容と特別教育実習における実践とを関連付け、内容の理解を深めたり新たな自己の課題を明確にしたりしてほしい。」との話がありました。

○「東京教師養成塾生としての心構え」

中嶋研修部長から、学校や教師に求められる役割、東京都の教育が求める教師像や教師に求められる資質・能力、東京型教育モデルについての話がありました。また、子供たちの夢をかなえる教師になるために、講義の内容を自分なりに咀嚼してほしい、という塾生へのメッセージがありました。

○「コミュニケーション」

フリーアナウンサーの 佐藤あかね 様から、特別教育実習で求められる社会人としての心構えやマナー、身だしなみについて講義を受けました。塾生は、ビジネスマナーの必要性や効果、教育公務員に求められる姿勢について考えることができました。

○「児童・生徒理解」

東京教師養成塾教授から、児童・生徒理解についての講義・演習がありました。塾生は、事例をもとに2つの演習に取り組み、班ごとの協議では、教師役と子供役に分かれたロールプレイやその振り返りを行いました。また、塾生は、児童・生徒理解を深めるための心構えや視点、信頼関係の築き方、一人一人の笑顔と喜びのあふれる学級・学校を創造していくことの大切さを学ぶことができました。



「東京教師養成塾生としての心構え」



「コミュニケーション」



「児童・生徒理解」の演習

○ 「一人1台端末の効果的な活用」

教育開発課須藤指導主事から、一人1台端末の活用についての講義・演習がありました。実際に端末を用いて一人1台の学習者用端末を活用した授業について演習を行いました。その中で、一度に大勢の意見を見ることができることなど、デジタルを使用する利点を体験を通して学びました。班ごとの協議では、ロールプレイを通して子供役・先生役に取り組み、実践的に理解を深めました。



「一人1台端末の効果的な活用」の演習

【塾生の感想より】

- 今日は、社会人としてのマナーについて、具体的に学ぶことができた。大学生ではあるが、学校に行く際には社会人としての心構えをもっていきたいと思う。
- 児童・生徒理解には、児童を否定せずありのままを受け入れること。そして、共感的理解を示すことが信頼関係を構築していく上でとても大切なことだと学んだ。ロールプレイでは、共感的理解や教師の問いかけの量などを意識しても、実際にやると上手くできなかったのが、特別教育実習ではそれらのポイントを意識して児童と接し、当たり前に行えるようにしていきたい。

● 第2回教科等指導力養成講座

令和4年11月27日（日）東京都教職員研修センターにおいて、第2回教科等指導力養成講座を実施しました。大久保主任指導主事から、特別教育実習や教科等指導力養成講座では、自分から進んで挨拶する意識が大切であるという話がありました。

○ 講義・演習「授業づくり」

教育開発課小野統括指導主事から、「授業づくり」の講義・演習がありました。講義内容を踏まえ、「これから期待される授業」をテーマに自分が実習で実践したい授業について、集団討論の形式で学びを深めました。



「授業づくり」後の集団討論

○ 講義・演習「国語1」（小学校コース）

東京教師養成塾教授から、国語の目標や内容についての講義・演習がありました。塾生は、事前に動画を視聴した上で、当日は単元の目標と言語活動を設定する演習に取り組みました。班ごとの協議・演習を通して、国語科の授業づくりのポイントについて学習しました。



「国語1」の班ごとの協議

○ 講義・演習「自立活動1」（特別支援学校コース）

東京教師養成塾教授から、自立活動の基本についての講義・演習がありました。塾生は、自立活動の法令上の位置付けを確認するとともに、児童・生徒一人一人の実態に即した R-P-D-C-A サイクルによる指導・支援の改善について学びました。



「自立活動」

○ 講義・演習「人権と教育」

教育開発課塚原指導主事から、教職員に求められる人権感覚の話がありました。塾生は、どのような人権意識をもつべきか、何に配慮して関わるべきか、どのように行動するべきか、ホワイトボードに整理することを通して、教員に必要な人権意識について学びました。



「人権と教育」から学んだこと

○ 講義・演習「道徳科1」（小学校コース）

東京教師養成塾教授から、道徳科の授業を充実させるために大切なことについて、講義・演習がありました。塾生は、より深い児童の思いを引き出すことのできる中心発問について話し合うことで、道徳科の授業づくりで大切なことについて学習しました。



「道徳科」

○ 講義・演習「障害種別と教育課程」（特別支援学校コース）

東京教師養成塾から、障害種別と教育課程の講義・演習がありました。特別支援学校における5つの障害種別と教育課程について具体的に知ることで、都立特別支援学校の仕組みをより詳しく理解することができました。

【塾生の感想より】

- これからの授業づくりでは、どのように学ぶか、どのように自分の考えを表現するか、アウトプットが重要であると学べた。知識のつながりや資料の比較を通して自分の中で問いを顕在化していくことで自分ごととして考えられると思った。
- 授業を作る上でのサイクルを学び、実態把握がとても大切なことを実感した。もう一度復習し、特別教育実習に生かしたいと考えた。